

おうちの方へ

保健室からの…つ・ぶ・や・き

ある座談会形式の研修で司会をした時の話です。

同期の友人についこぼしてしまいました。

「まったく意見がでなかったり、反対にとんでもない質問がたくさん出たらどうしよう。…悩むわ～。参加者の中には厳しい人もいるから。」と。

すると友人はいとも簡単に、

「なるようになるって。心配しても仕方ないやん。案外うまくもりあがるんちがう？」と言ったのです。

軽く扱われたように感じて、

「あんたはいつものんきやな。」と返してしまいました。

「のんきやなくて**プラス思考**って言ってよな。」と返され、フンと半ばあきれたように鼻で笑われてしまいました。



マイナス思考でわるかったな!と思いつつ、“プラス思考”について考えていたところ、ある本にこんなことが載っているのをみつけました。

—物理学的には、光も音も熱も色も、すべて波であり、振動です。そして心もまた振動であらわせます。人間の意識や無意識の振動は、私たちがふつう固体だと思っている物の極小のすきまを通り抜けて一瞬のうちに遠くに伝わっていきます。テレパシーとはこのことをいうのかもしれませんが。こうして遠くまで飛んだ振動が、ほかの人や物のすきまに入り込んで影響を与えるのだとしたら、より強く念じたことの方が伝わりやすいはずです。言いかえれば**「自分が強く望むことは実現しやすい」**のです。プラス思考をしていると、心の振動もプラス方向になり、それが周りにも振動として伝わって、すべてがプラス方向に動き始めるわけです。—

(参考:高橋宏和著 量子力学的願望実現の教科書)

『プラス思考で生きていた方が物事がうまくいく!』は、こんなふうに科学的に説明することもできるのですね。

普段からあれこれ先の心配をすることが多く、つついマイナス思考になりがちなのですが、「あたたかく・しっかり支えてくださる人が周りにたくさんいるのだから、私は大丈夫!!」と言い聞かせ、志賀小ライフを楽しみながら送りたいなと思います。

